

# 令和 2 年度事業実施状況報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 1 会員総会

### (1) 令和 2 年度 定時会員総会

- 1) 日時 令和 2 年 6 月 11 日(木) 午後 1 時
- 2) 場所 全酪連役員会議室 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館 2 階
- 3) 議事  
第 1 号議案  
令和元年度事業報告・貸借対照表・正味財産増減計算書に関する件  
第 2 号議案  
令和 2 年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

### (2) 令和 2 年度 臨時会員総会

- 1) 書面決議日 令和 2 年 10 月 27 日(火)
- 2) 議事  
第 1 号議案 欠員役員の選任の件

## 2 理事会

### (1) 令和 2 年度第 1 回理事会

- 1) 書面決議日 令和 2 年 5 月 27 日(水)
- 2) 議事  
第 1 号議案  
令和元年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び関連資料の件  
第 2 号議案  
令和 2 年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

### (2) 令和 2 年度第 2 回理事会

- 1) 書面議決日 令和 2 年 10 月 6 日(火)
- 2) 議事  
第 1 号議案 欠員役員の選任の件

### (3) 令和 2 年度第 3 回理事会

- 1) 日時 令和 3 年 3 月 3 日(水) 午後 1 時 30 分
- 2) 場所 全酪連役員会議室 (酪農会館 2 階) 及びウェブ
- 3) 議事  
第 1 号議案  
令和 3 年度事業計画及び収支予算の承認の件

## 第2号議案

令和3年度定時会員総会及び理事会開催日程に関する件

## 第3号議案

令和2年度事業実施概要及び事業執行状況報告について

### 3 監事監査

(1)日時 令和2年5月17日(月) 午後1時30分

(2)場所 当協会事務所 東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館6階

### 4 令和2年度事業概況

令和元年度第5回理事会で承認を得て、令和2年度事業を開始したが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のための緊急事態宣言が4月7日に発出された。

以降、感染の終息も見えず、各団体や各地での研修会や発表会、対面会議等について相次いで中止せざるを得ない困難な状況が続いている。

当協会の事業についても同様であり、各地域の酪農ヘルパーが集まったの勉強の場である「酪農ヘルパー専門技術員養成研修」や全国の酪農ヘルパーや関係者が一同に会する「酪農ヘルパー事業中央研究会(優良事例発表会)」等の実施が困難となった。各事業の実施状況については以下の通りである。

#### (1)一般事業

##### 1)酪農ヘルパー要員の確保と普及啓発活動

酪農ヘルパー要員の確保を支援するため、当協会ホームページを活用して酪農ヘルパー関連情報の提供を行うとともに、各地域の利用組合の要請に基づき「酪農ヘルパー募集情報」を掲載した。

また、都道府県団体や利用組合で作成している酪農ヘルパーに係るホームページ等の情報を広く提供するため、当協会ホームページ内に「ヘルパー組織の活動紹介」コーナーを設けた。

また、(一社)全国酪農協会が発行する全酪新報に酪農ヘルパー募集に関する広告を掲載した。

##### 2)酪農ヘルパー全国協会会長表彰事業

利用組合からの推薦を基に、就業経験5年以上で優れた技術を持つ酪農ヘルパーを表彰する事業である。例年通り12月開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

##### 3)会員団体等との事業連携

ア 会員団体等が主催する研修会や会議等に職員を派遣し、酪農ヘルパー事業に関わる情勢報告や要員確保等に関する意見交換を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で1ヵ所のみ研修となった。

① 11月11日農林水産省 中央畜産技術研修会 (参加者47名)

イ 会員団体等へ、酪農ヘルパー事業に係る推進情報として「メールマガジン」を6回発信した。

ウ 毎年、12月に開催している中央研究会の内容を中心に一年間の酪農ヘルパー活動情報をまとめ「酪農ヘルパー情報」を提供しているが、今年度は中央研究会の中止もあって、利用実態調査結果や当協会ホームページの掲載項目の紹介等をまとめ3月に配布した。

#### 4) 酪農ヘルパーの養成活動

酪農ヘルパーに就業されて3年以上の経験を有する酪農ヘルパーを対象とした中級者研修を前年度同様に計画したが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

#### 5) 傷害時補償制度の推進

臨時ヘルパーの出役中(往復途上含む)の事故傷害に対応するため「臨時酪農ヘルパー傷害保険(普通傷害)」の加入手続きおよび加入促進を図った。

参加 都道府県数	利用組合数	加入 ヘルパー人数	保険料実績 総額(千円)
38	154	633	2,128

#### 6) 傷害保険料の補助(当協会主催に限る)

酪農ヘルパー専門技術員養成研修(6名)および酪農体験実習(8名)時の研修生の傷害・損害に対応するため、「国内旅行傷害保険」に加入し保険料(5千円)を全額当協会が負担した。

## (2) 酪農経営支援総合対策事業「酪農経営安定化支援ヘルパー事業」

(独立行政法人農畜産業振興機構 公募事業)

酪農ヘルパー要員の確保育成、酪農家の傷病時利用の負担軽減およびヘルパー利用組合の組織強化など、酪農ヘルパー制度を総合的に推進し、持続可能なゆとりある酪農経営に資するため、コロナ禍の中、ウェブを中心に事業を推進した。

#### 1) 酪農ヘルパー利用実態調査の実施

酪農ヘルパー制度の充実を図るため、令和2年8月1日現在の酪農ヘルパー利用組合の概況および令和元年度の酪農ヘルパー利用実績について調査を実施した。この結果は「酪農ヘルパー利用に関する資料(冊子)」としてまとめ、会員、利用組合及び関係機関に配付した。

#### 2) 酪農ヘルパー事業の広報活動

当協会ホームページでは酪農ヘルパーの具体的な仕事内容や就職に至る流れなどを紹介するコンテンツや酪農ヘルパー募集情報、学生インターンシップの受入情報等を発信している。今年度は、南十勝酪農ヘルパー有限責任事業組合の協力を得て動画「私たち酪農ヘルパーです!」を作成し追加掲載した。また、利用組

合で作成しているホームページ等にアクセスできるリンク集コーナー「ヘルパー組合の活動紹介」を作成し、各利用組合での酪農ヘルパー活動を広報できるようにした。

また、酪農ヘルパー募集支援活動として、新農業人フェア等（7月東京ドームシティ・9月池袋サンシャインシティ・11月大阪ハービスホール・2月東京国際フォーラム）へ積極的に出展した。

### 3) 人材コンサルタントを活用したヘルパーの採用・定着の促進

昨年度実施した「酪農ヘルパーの新規採用及び定着化」に関する課題解決策や具体的取組のための支援策について、2利用組合とのウェブ会議等を中心に実現に向けて提案した。今後、利用組合内で協議し、新規採用とその定着化に結び付けていく計画である。

### 4) 酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)の実施

酪農家の搾乳作業を中心とした代行業務や新規就農に向けた技能蓄積にも対応するため、酪農情勢・搾乳管理技術・コミュニケーション力・牧草の知識・繁殖管理(生理)・哺育育成技術・疾病および防疫・飼養環境・食品衛生・生乳流通など、酪農ヘルパーとして必要な基礎知識や専門技術を習得するための「初任者研修」であるが、9月に実施した蔵王酪農センターでの研修を除いて新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

しかしながら多くの利用組合から初任者研修参加希望者があったことから、初任者研修の講師を依頼している酪農学園大学教授陣の協力を得て、研修用DVDを作成した。貸与方式による視聴研修を実施し、受講修了者には「修了証書」を発行した。

※専門技術員養成研修は1回・6名が受講した。（中級者研修は当協会事業であるが中止）

開催場所	北海道	宮城県	福島県	岡山県	DVD 都府県	合計
初任者研修Ⅰ (2週間)	<u>2回計画</u> 一名	<u>1回</u> 6名		<u>1回計画</u> 一名		<u>1回</u> 6名
初任者研修Ⅱ (1週間)	<u>4回計画</u> 一名		<u>1回計画</u> 一名			<u>一回</u> 一名
DVD研修	<u>59名</u>				<u>13名</u>	<u>72名</u>
中級者研修 (1週間)	<u>1回計画</u> 0名					<u>一回</u> 一名
受講者計	59名	6名	一名	一名	13名	78名

### 【酪農ヘルパー技能養成研修委託団体】

- 一財) 北海道農業協同組合学校(北海道江別市)
- 独法) 北海道立総合研究機構 畜産試験場(北海道新得町)
- 独法) 北海道立総合研究機構 酪農試験場(北海道中標津町)
- ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 訓子府実証農場(北海道訓子府町)
- 一財) 蔵王酪農センター(宮城県蔵王町)
- 全国酪農業協同組合連合会 酪農技術研究所(福島県矢吹町)
- 公財) 中国四国酪農大学校(岡山県真庭市蒜山)

### 【体験実習受入団体】

- 公財) キーブ協会高冷地実験農場(山梨県北杜市)
- JA 全農長野 八ヶ岳牧場(長野県南佐久郡) (順不同)

### 5) 優良事例発表会等の中止

酪農ヘルパー事業の充実および優良事例の普及啓発を図るため、平成 14 年度から「酪農ヘルパー事業中央研究会（優良事例発表会）」を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止した。

### 6) 学生インターンシップの中止

酪農ヘルパー業務の認知度向上と酪農ヘルパーの要員不足の解消のための職業選択肢の拡大を目的に、独立行政法人家畜改良センターの協力を得て実施している。今年度も岩手牧場で実施する予定であったが、研修参加の大学生が確定したところで新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

## 5 会員の動向（令和 2 年度）

区分	会員			賛助会員
	中央団体	都道府県団体	合計	
期首	13	44	57	12
期末	13	44	57	12
増減	0	0	0	0

## 6 職員の動向（令和 2 年度）

区分	職員(受入出向含む)	臨時職員	合計
期首	5	0	5
期末	4	0	4
増減	△1	0	△1

(末日付けの退職者は本年度減少に含む)